



# 2017年3月期 第2四半期 決算説明資料

(注) 見直しに関する注意事項

本説明会・資料における当社グループの今後の計画・見直し・戦略等、将来に関する記載は、当社が現時点において把握可能な情報をもとに判断したものであり、これらは様々なリスクや不確実性が内在しております。

従って、経営環境の変化、未知のリスクの顕在化、およびその他様々な要因により、実際の業績等の結果は大きく異なる可能性があることをご承知おき下さい。

なお、表示の数値は、億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

**2016年11月8日**  
**兼松株式会社**

<http://www.kanematsu.co.jp/>

# 1.2017年3月期 第2四半期 決算概要

## 1-1. 第2四半期決算 ハイライト (P/L)

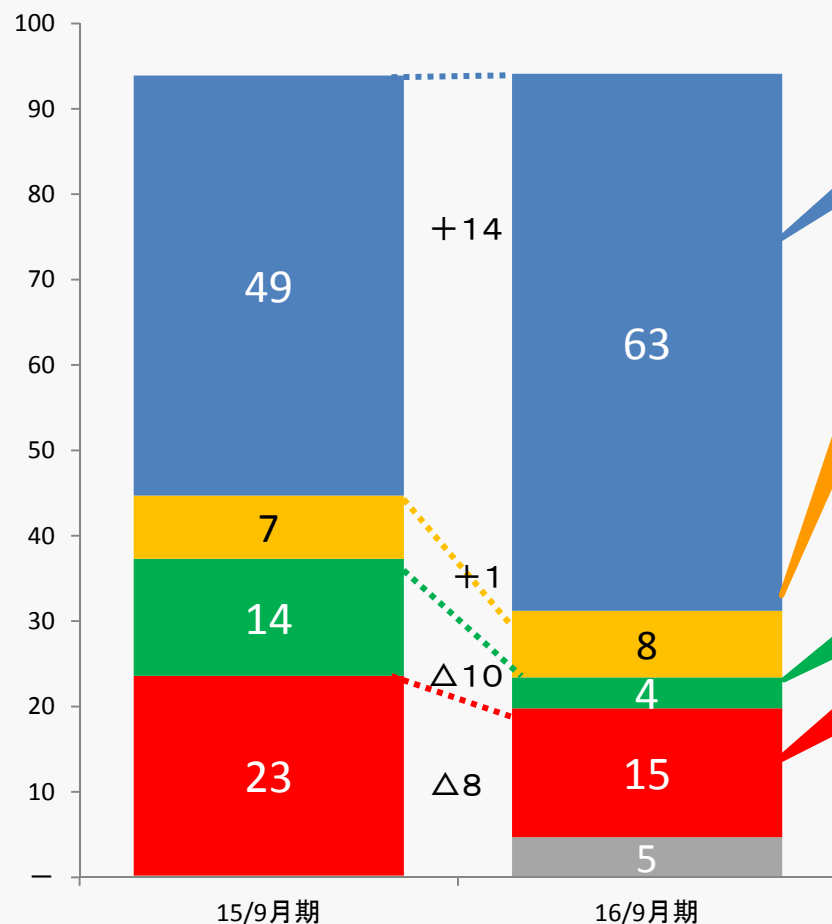
- ✓ 当期利益は持分法損益の悪化で前期比20%の減益
- ✓ 営業活動に係る利益は横ばい

(単位:億円)	16/3月期 2Q実績	17/3月期 2Q実績	前期対比
売上高 (日本基準)	5,376	5,149	△ 227
売上総利益	431	477	+ 46
営業活動に係る利益	94	94	+ 0
金融収益・費用	△ 5	△ 3	+ 1
持分法による投資損益	4	△ 8	△ 12
税引前四半期利益	93	83	△ 10
四半期利益	59	52	△ 8
親会社の所有者に帰属する四半期利益	51	41	△ 10

# 1 - 2. 第2四半期決算ハイライト (セグメント利益)

✓ 電子・デバイスが他セグメントの減益をカバーし前期比横ばい

セグメント営業活動に係る利益



## 電子・デバイス <増収増益>

ICTソリューション事業は製造業向け取引が順調に推移。また、モバイル事業は堅調に推移する一方で、半導体部品・製造装置事業は中国経済の停滞、スマホ需要の減速などのため、苦戦。

## 食料 <ほぼ横這い>

食品事業は、堅調に推移。畜産事業が、市況の回復を受け、先期の落ち込みから回復。食糧事業は、国内飼料価格の下落により苦戦。

## 鉄鋼・素材・プラント <減収減益>

プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引が堅調に推移。鉄鋼事業は、原油価格の低迷により主力の油井管事業が大幅減益。

## 車両・航空 <減収減益>

車両・車載部品事業は、取引数量は順調に推移。航空・宇宙事業は、航空機部品取引が長期契約の端境期で減益。

## 1 - 3. 第2四半期決算 ハイライト (財務状況)

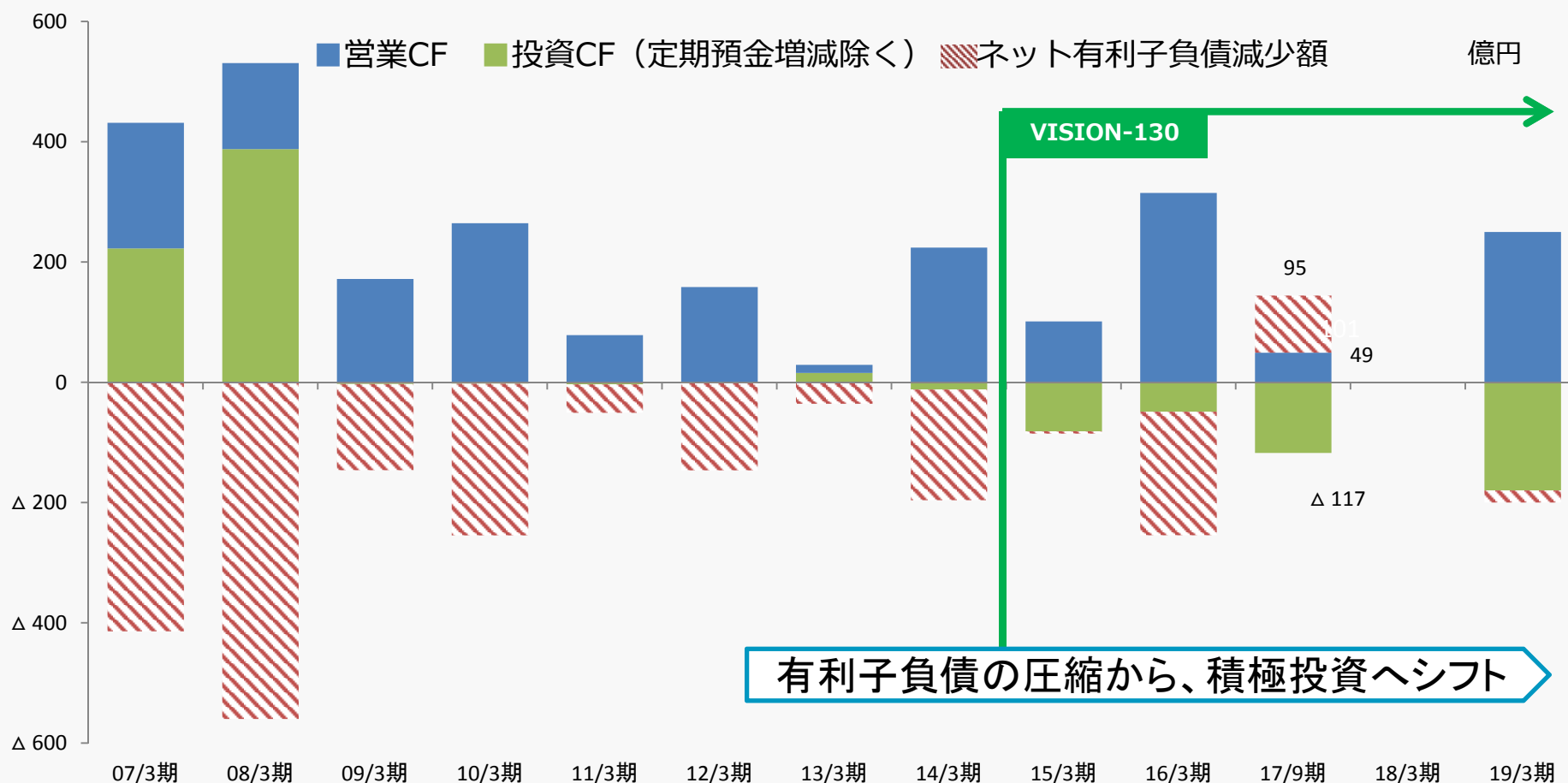
- ✓ 円高や株価下落の影響で自己資本比率は若干の悪化
- ✓ ネットDERは0.6倍と引き続き低水準を維持

(単位:億円)	16/3月末 実績	16/9月末 実績	(単位:億円)	16/3月末 実績	16/9月末 実績
総資産	4,436	4,468	グロス有利子負債	1,369	1,358
純資産	1,207	1,183	ネット有利子負債	488	583
自己資本	916	903	ネットDER	0.5倍	0.6倍
1株あたり純資産	285.7円	280.1円	ROE	9.8%	
自己資本比率	20.6%	20.2%			

※ 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分、 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産、  
ネットDER = ネット有利子負債 ÷ 自己資本

# 1-4. 第2四半期決算 ハイライト (C/F)

✓ 4月1日付で実行したダイヤモンドテレコム社の買収に伴い、投資CFは117億円のキャッシュアウト



## 2.2017年3月期 通期見通し

## 2-1. 2017年3月期 見通し

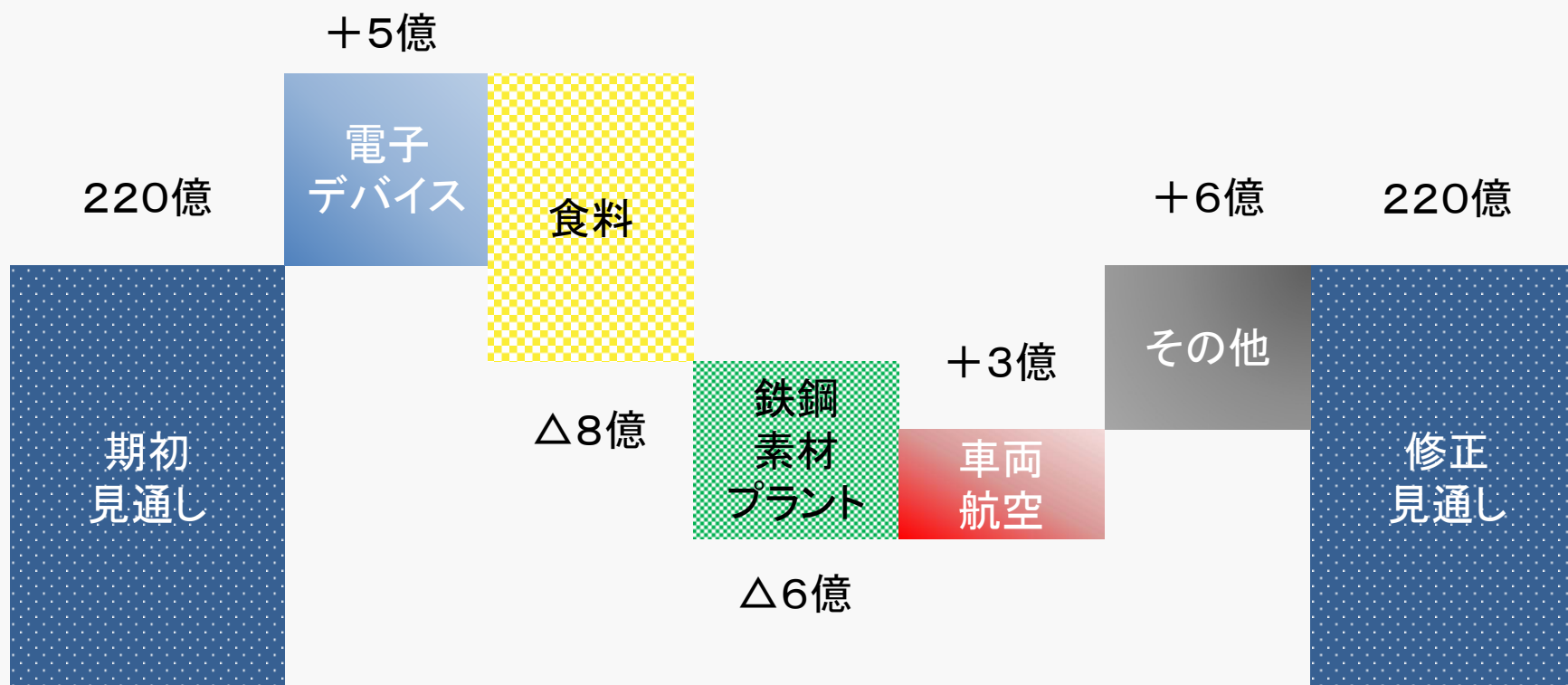
- ✓ 営業活動に係る利益は順調に推移する見通し
- ✓ 為替評価による持分法損益の悪化で当期利益は下振れ

(単位:億円)	17/3月期 (5月10日公表)	17/3月期 (11月2日公表)	増減
売上高 (日本基準)	12,500	11,500	△ 1,000
営業活動に係る利益	220	220	+ 0
税引前利益	210	200	△ 10
親会社の所有者に帰属する当期利益	115	100	△ 15



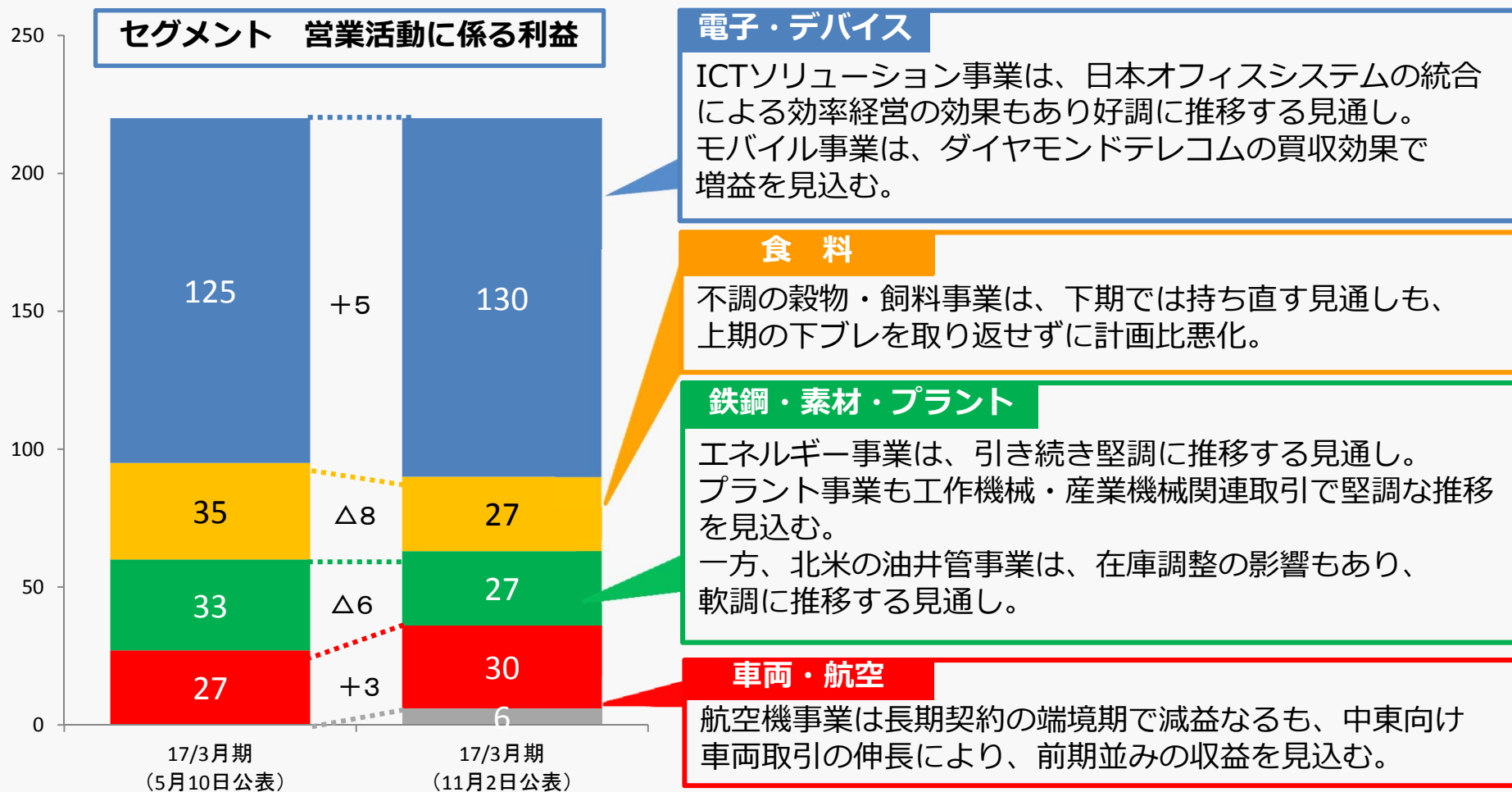
## 2-2. 2017年3月期 セグメント利益増減

- ✓ 電子・デバイスはICTソリューション、モバイル事業が伸長
- ✓ 食料では穀物・飼料ビジネス、鉄鋼素材プラントでは油井管ビジネスが苦戦
- ✓ その他セグメントでは子会社の住宅関連事業が好調



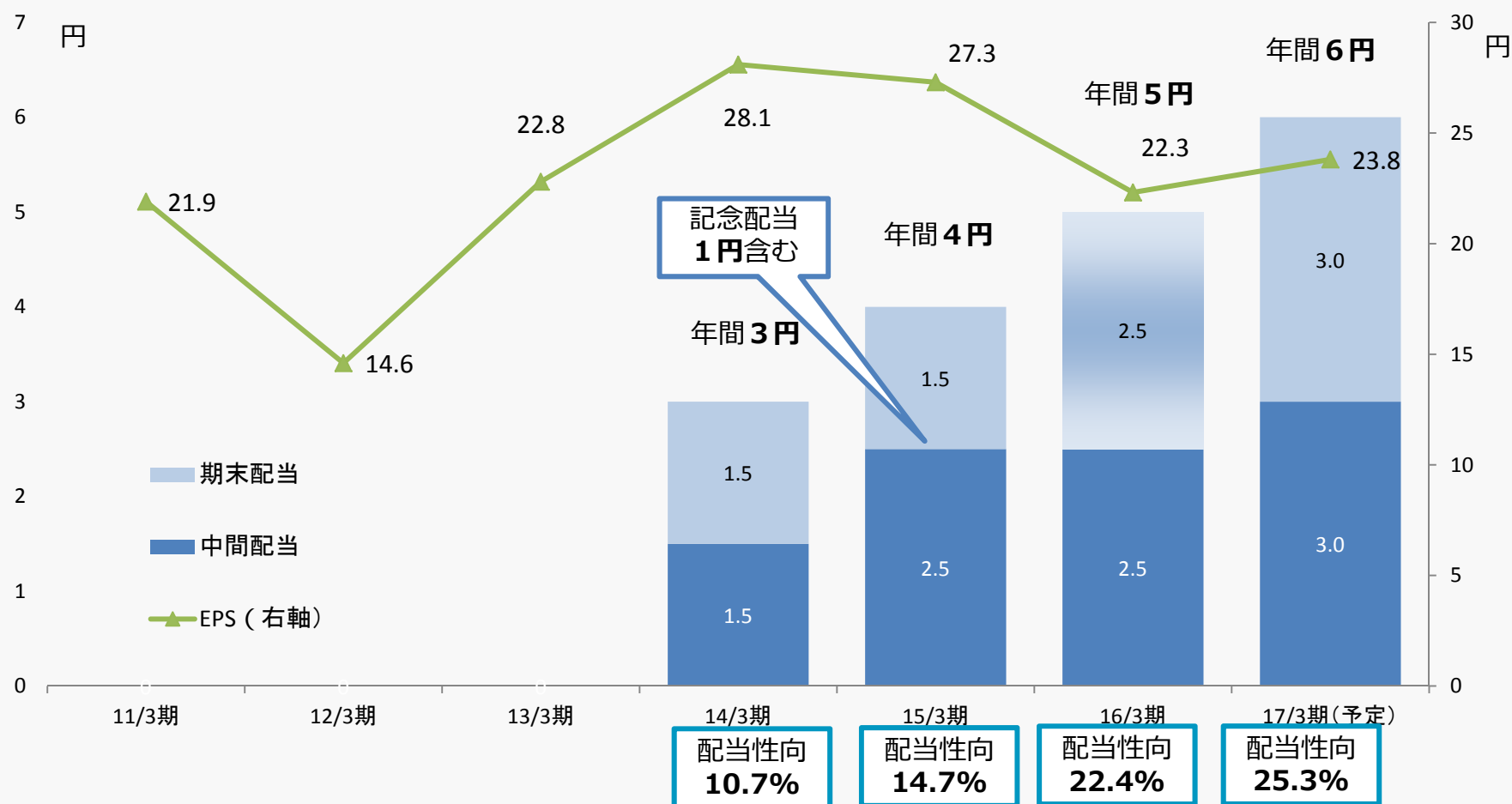
## 2-3. 2017年3月期 見通し (セグメント利益)

- ✓ 電子・デバイスは買収効果もあり、引き続き好調
- ✓ 食料、鉄鋼・素材・プラント事業が前期に続き苦戦の見込み



## 2-4. 2017年3月期 配当方針

- ✓ 連結配当性向25%を目処に、安定的かつ継続的に実施
- ✓ 17年3月期の配当金(予定)は、年間6円据え置き



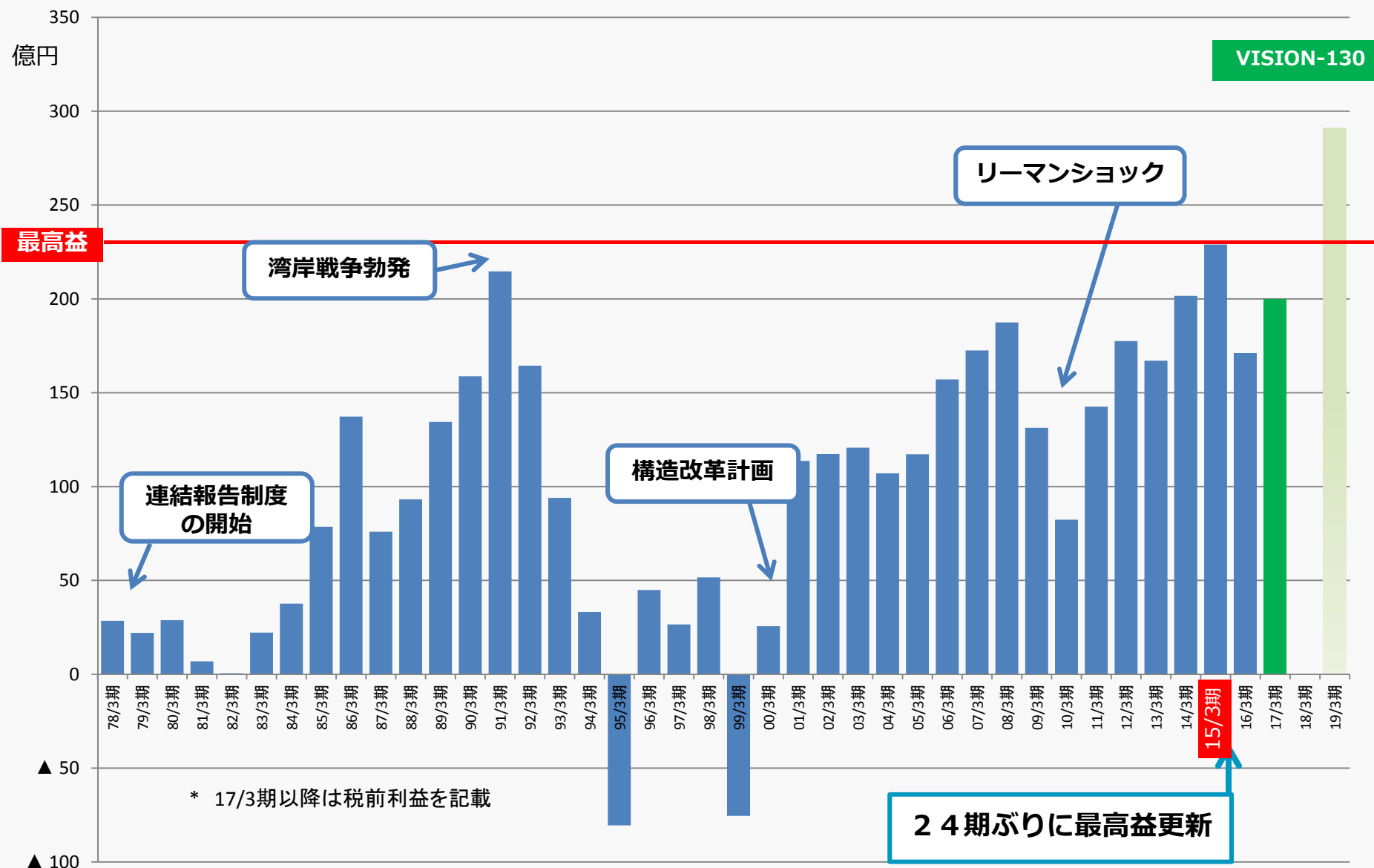
<MEMO>

<MEMO>

<MEMO>

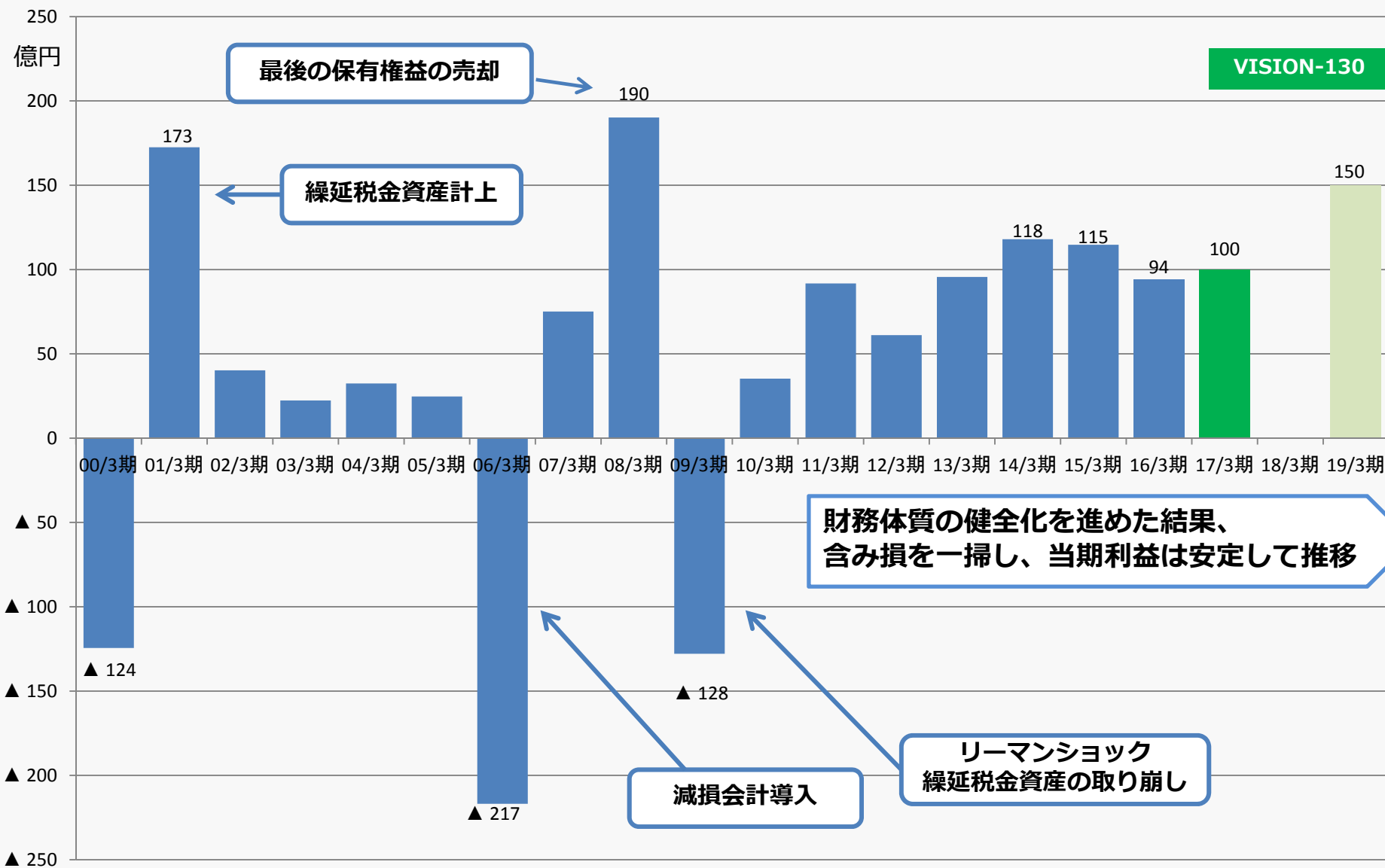
# Appendix

# Appendix 1 – 1. 連結経常利益の推移（78/3月期～）

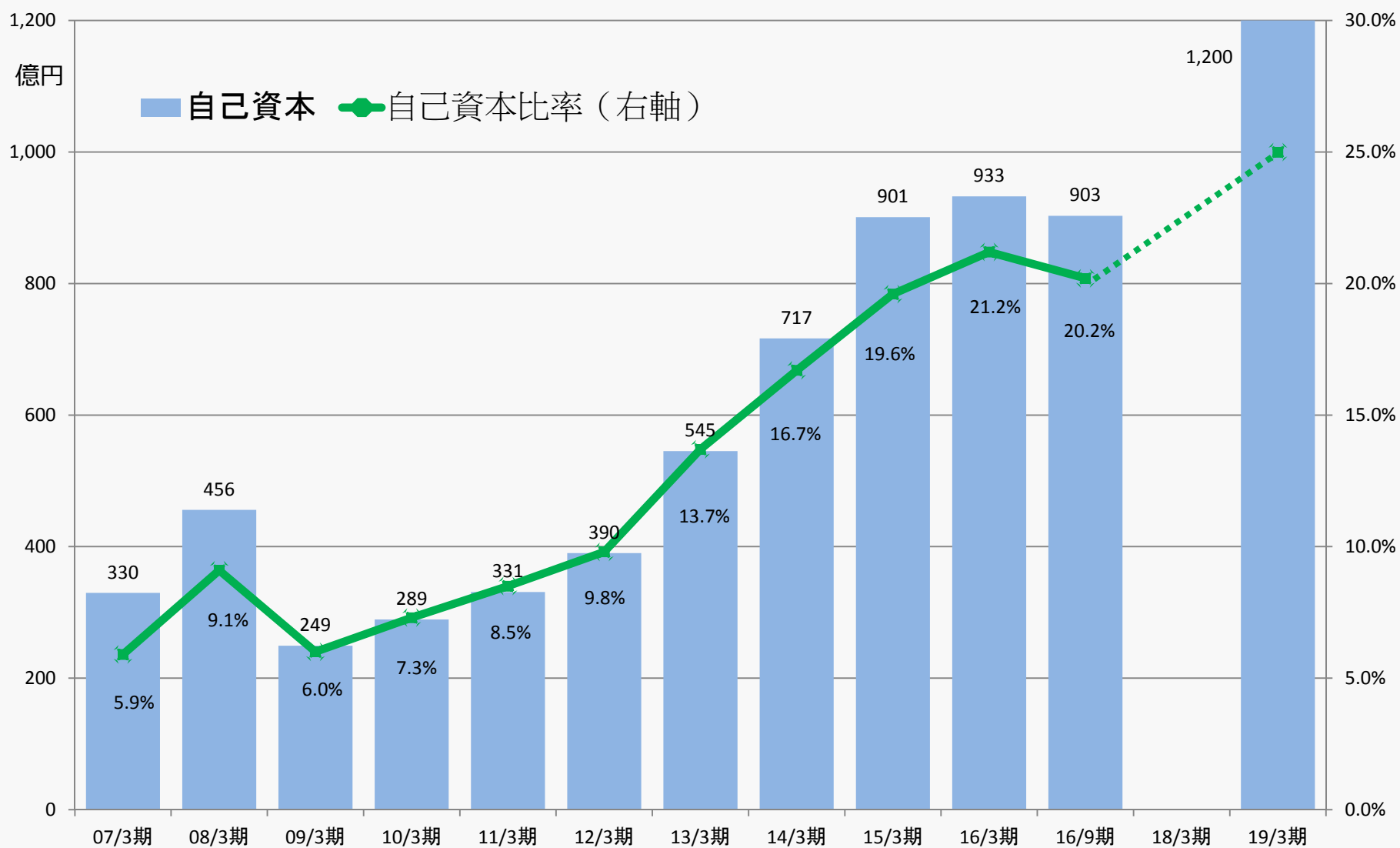




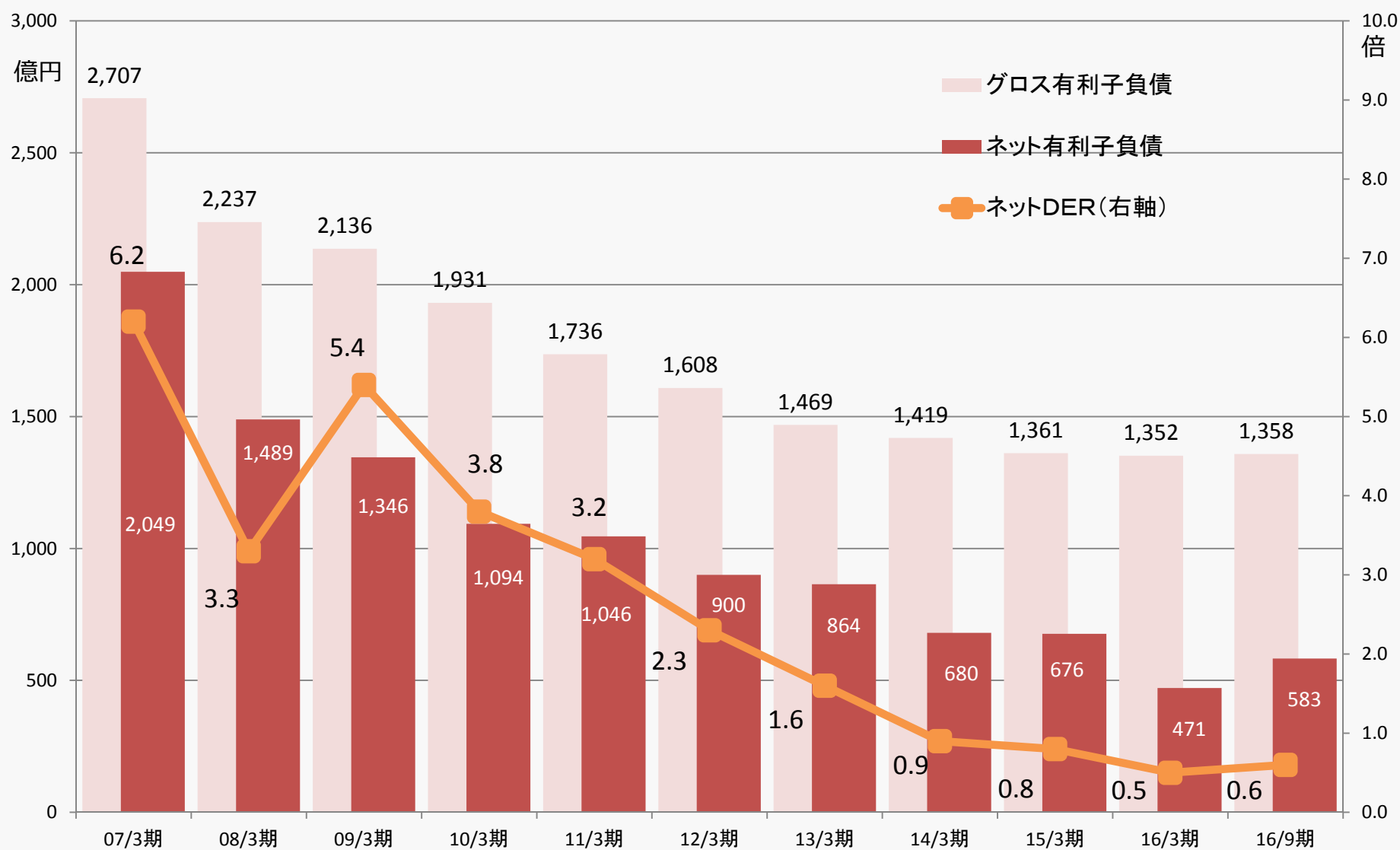
# Appendix 1 – 2. 連結当期利益の推移 (99/3月期～)



# Appendix 1 – 3. 自己資本と自己資本比率の推移



# Appendix 1 – 4. 有利子負債とネットDERの推移



## Appendix 2. 兼松グループの事業概要

セグメント	主要な事業	主要取扱商品	主要グループ会社
電子・デバイス	半導体部品・製造装置	半導体・液晶パネルおよび製造装置、電子モジュール・部材	兼松エレクトロニクス
	電子機器・電子材料	プリンタおよび関連機器、リチウムイオン電池制御用モジュール	兼松コミュニケーションズ
	ICT・モバイルソリューション	情報・通信関連機器およびサービス、携帯通信端末、 モバイルインターネットシステム・サービス	ダイヤモンドテレコム 兼松日産農林
	セキュリティ機器	防犯カメラ、レコーダー等各種セキュリティ機器	兼松アドバンスド・マテリアルズ
食料	食品	缶詰・冷凍・ドライフルーツ、コーヒー、ココア、砂糖、ゴマ、 落花生、雑豆、ワイン、加工食品、調理食品	Kanemory Food Service 兼松新東亜食品
	畜水産	畜産物、水産物	兼松アグリテック
	穀物・飼肥料・ペット用製品	小麦、大麦、米、コーン、大豆、小麦加工食品、飼料、牧草、 肥料、ペットフード、ペット用品	兼松ソイテック ノースペット
鉄鋼・素材・ プラント	鉄鋼貿易	各種処理鋼板、シームレスパイプ	Steel Service Oilfield Tubular
	特殊鋼貿易	ステンレス、特殊鋼線材・条鋼	Benoit Premium Threading
	国内鉄鋼・鉄鋼原料	鉄鋼製品全般、鉄鉱石、コークス	兼松トレーディング
	原油・石油製品・ガス	原油、石油製品、LPG、排出権ビジネス	兼松ペトロ
	機能性化学品、 ライフサイエンス	リチウム電池原料、太陽電池関連部材、医薬品・医薬中間体、 機能性食品素材、栄養補助食品	兼松ケミカル 兼松ウェルネス
	プラント・船舶	各種プラント、ODA案件、光ファイバー、 電力・通信プロジェクト、船舶、船舶用機材	兼松ケージーケイ
	工作機械・産業機械	工作機械、産業機械	
車両・航空	車両・車載部品	二輪車、四輪車、車載部品、鋳鍛造部品、建設機械	兼松エアロスペース 新東亜交易
	航空宇宙	航空機・ヘリコプターおよび部品、衛星・宇宙関連製品	KG Aircraft Rotables

## Appendix 3. 主要連結子会社の状況（売上高・経常利益）

(単位:億円)	事業 内容	持ち分 比率	15/9期		16/9期	
			売上高	営業活動利益	売上高	営業活動利益
兼松エレクトロニクス	ICTソリューション	58.28%	298	31	298	46
兼松コミュニケーションズ	モバイル	100.00%	636	15	596	16
兼松日産農林	セキュリティ機器等	52.88%	57	3	62	5
兼松新東亜食品	食品・畜水産	100.00%	137	1	172	2
兼松アグリテック	飼料酪農	100.00%	66	0	62	▲ 0
兼松トレーディング	国内鉄鋼・鉄鋼原料	100.00%	179	2	125	1
兼松ケージーケイ	工作機械・産業機械	97.90%	235	3	234	5
兼松ペトロ	石油製品・ガス	100.00%	598	3	471	1
兼松ケミカル	機能性化学品	100.00%	84	3	81	3
新東亜交易	商社	100.00%	532	12	479	8
Kanematsu USA Inc.	海外現地法人	100.00%	233	4	146	▲ 5

# Appendix 4. グループ会社の状況

## グループ会社の黒字・赤字会社数

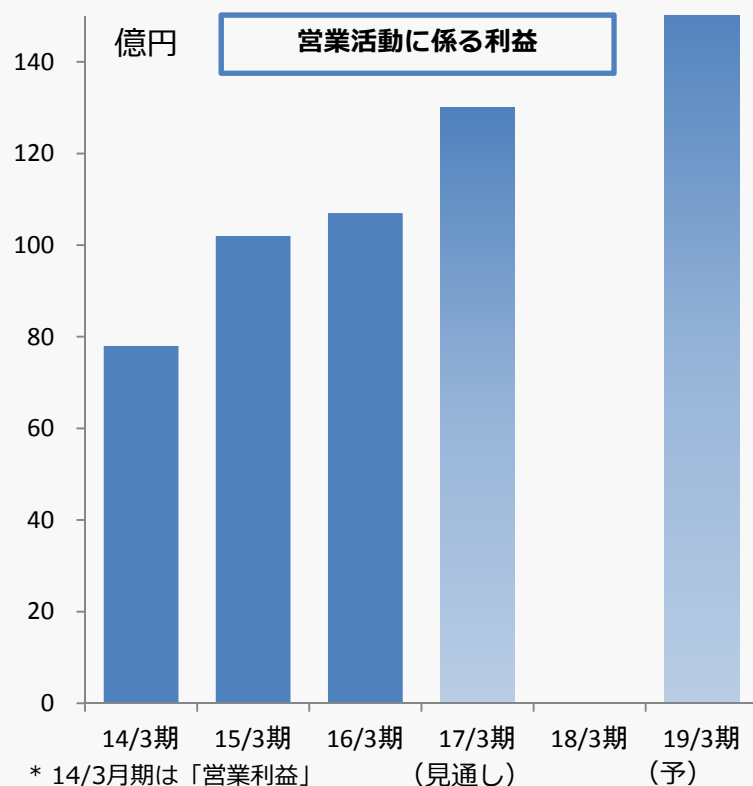
(単位：社)	2016/3月期 第2四半期					2017/3月期 第2四半期					前期対比
	連結子会社		持分法適用		合計	連結子会社		持分法適用		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字会社	33	27	11	8	79	37	31	9	13	90	+ 11
(黒字比率)	70%	67%	83%	88%	69%	86%	70%	100%	69%	78%	
赤字会社	6	23	1	6	36	6	15	2	3	26	▲ 10
合計	39	50	12	14	115	43	46	11	16	116	+ 1

## グループ会社の黒字・赤字額

(単位：億円)	2016/3月期 第2四半期					2017/3月期 第2四半期					前期対比
	連結子会社		持分法適用		合計	連結子会社		持分法適用		合計	
	国内	海外	国内	海外		国内	海外	国内	海外		
黒字額	41	6	3	1	52	48	4	2	1	55	+ 3
赤字額	0	▲ 6	0	0	▲ 6	▲ 1	▲ 5	▲ 10	▲ 1	▲ 17	▲ 11
合計	41	0	3	1	46	47	▲ 1	▲ 8	▲ 0	39	▲ 7

## Appendix 5 – 1. セグメント情報（電子・デバイス）

(単位:億円)	15/3月期 (実績)	16/3月期		17/3月期		増減	
		(2Q実績)	(実績)	(2Q実績)	(見通し)	(2Q実績)	通期
売上高	2,769	1,346	2,779	1,621	3,700	+ 275	+ 921
営業活動に係る利益	102	49	107	63	130	+ 14	+ 23



### 17/3期 2Q 実績

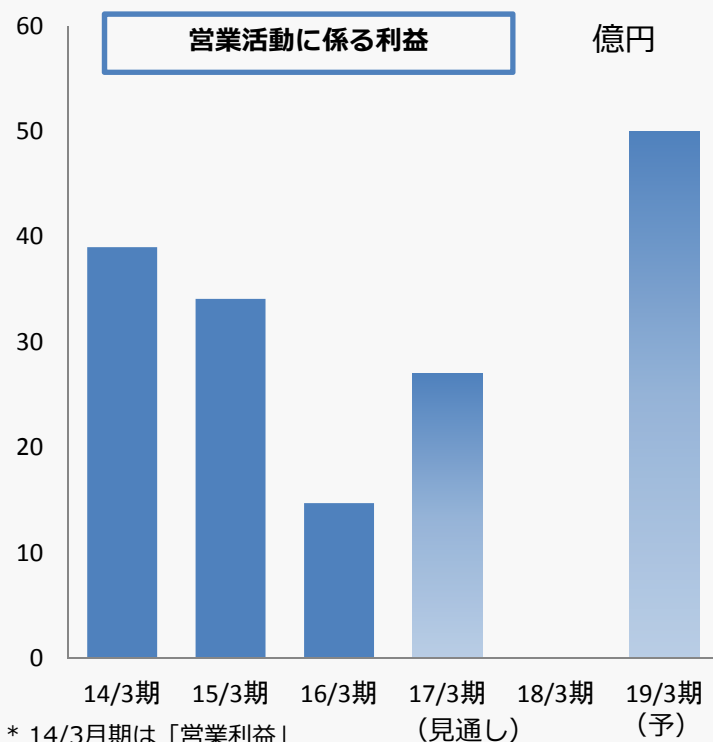
ICTソリューション事業は製造業向け取引が順調に推移。また、モバイル事業は堅調に推移する一方で、半導体部品・製造装置事業は中国経済の停滞、スマホ需要の減速などのため、苦戦。

### 17/3期 見通し

ICTソリューション事業は、日本オフィスシステムの統合による効率経営の効果もあり好調に推移する見通し。  
モバイル事業は、ダイヤモンドテレコムを買収効果で増益を見込む。

## Appendix 5 – 2. セグメント情報（食料）

(単位:億円)	15/3月期 (実績)	16/3月期		17/3月期		増減	
		(2Q実績)	(実績)	(2Q実績)	(見通し)	(2Q実績)	通期
売上高	3,077	1,636	3,231	1,639	3,400	+ 3	+ 169
営業活動に係る利益	34	7	14	8	27	+ 0	+ 13



### 17/3期 2Q 実績

食品事業は、堅調に推移。また、畜産事業は、市況の回復を受け、先期の落ち込みから回復。食糧事業は、国内飼料価格の下落により苦戦。

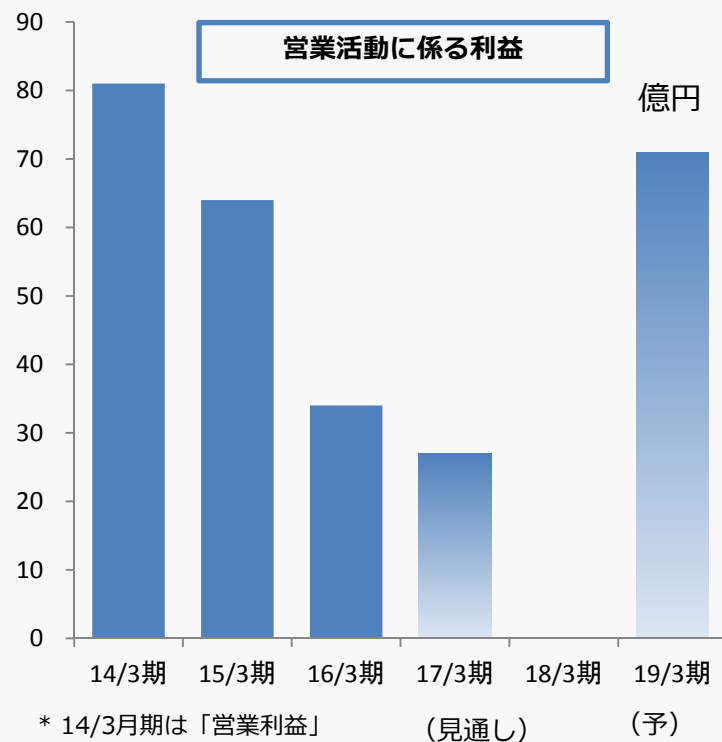
### 17/3期 見通し

不調の穀物・飼料事業は、下期では持ち直す見通しも、上期の下ブレを取り返せずに計画比悪化。



## Appendix 5 – 3. セグメント情報（鉄鋼・素材・プラント）

(単位:億円)	15/3月期 (実績)	16/3月期		17/3月期		増減	
		(2Q実績)	(実績)	(2Q実績)	(見通し)	(2Q実績)	通期
売上高	4,680	1,967	3,789	1,479	3,400	▲ 489	▲ 389
営業活動に係る利益	64	14	34	4	27	▲ 10	▲ 7



### 17/3期 2Q 実績

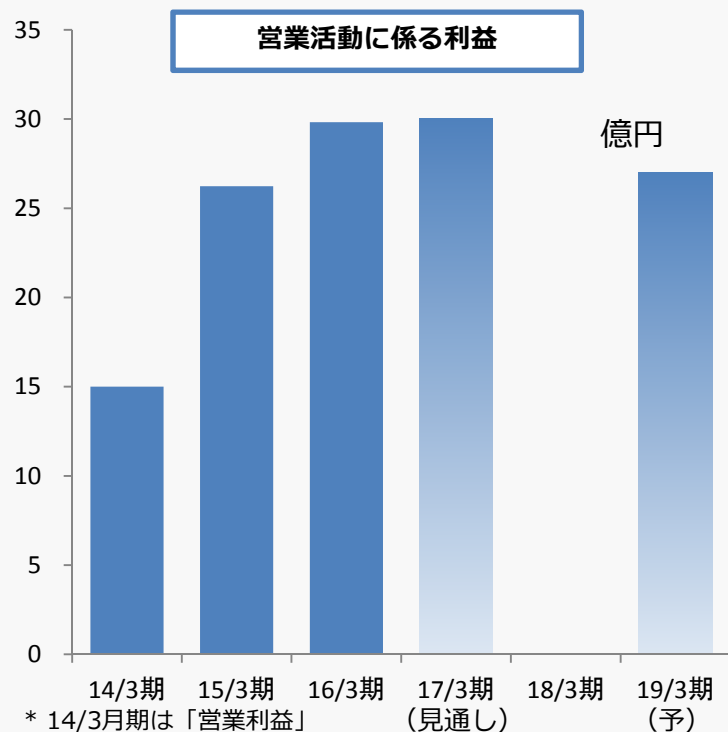
プラント事業は、工作機械・産業機械関連取引が堅調に推移。鉄鋼事業は、原油価格の低迷により主力の油井管事業が苦戦。エネルギー事業、および機能性化学品事業は、市況の低迷に伴い苦戦。

### 17/3期 見通し

エネルギー事業は引き続き堅調に推移する見通し。プラント事業も工作機械・産業機械関連取引で堅調な推移を見込む。一方、北米の油井管事業は、在庫調整の影響もあり、軟調に推移する見通し。

## Appendix 5 – 4. セグメント情報（車両・航空）

(単位:億円)	15/3月期 (実績)	16/3月期		17/3月期		増減	
		(2Q実績)	(実績)	(2Q実績)	(見通し)	(2Q実績)	通期
売上高	597	363	712	348	800	▲ 15	+ 88
営業活動に係る利益	26	23	30	15	30	▲ 8	+ 0



### 16/3期 実績

車両・車載部品事業は、取引数量は順調に推移。また、航空・宇宙事業は、航空機部品取引が長期契約の端境期で苦戦。

### 17/3期 見通し

航空機事業は長期契約の端境期で減益なるも、中東向け車両取引の伸長により、前期並みの収益を見込む。